

## 第 94 回デメンシアカンファレンスを開催

2023 年 3 月 1 日

3 月 1 日（水）に福井大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ） 「第 9 4 回デメンシアカンファレンス」を Web 上で開催しました。

「物忘れを主訴に受診した 78 歳女性の 1 例」のタイトルで、福井大学からの症例報告が進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。



## 第 94 回デメンシアカンファレンス 報告要旨

# 「物忘れを主訴に受診した 78 歳女性の 1 例」

発表者 眞田采也加（福井大学脳神経内科）

司会者 遠藤芳徳（同上）

【要旨】 症例 78 歳女性

【主訴】 物忘れ

【既往歴】 高血圧、脂質異常症、アレルギー性鼻炎、不眠症、白内障

【家族歴】 特記なし

【生活歴】 タバコ：なし、アルコール：なし

【アレルギー】 食物：なし、薬：なし

【内服】 アムロジピン、イコサペント酸エチル、オロパタジン、スボレキサント、ヒアルロン酸 Na 点眼液

【現病歴】 夫とは離婚し、子どもは独立したため現在一人暮らし。最近、物忘れを自覚していた。X 日に美容室を利用中に、受け答えがおかしいことを指摘された。病院受診を勧められ A 病院受診。頭部 MRI で新鮮脳梗塞や慢性硬膜下血腫など認めず、認知症疑いで X + 14 日に当科コンサルトとなった。

【経過】 診察上では意識清明、明らかな高次機能低下なく、MMSE は 26 点と年齢相応であった。認知症としては非典型的であり、病歴を再聴取したところ、X-8 年頃より胸部不快感が出現した後に、短時間の幻覚を認めることがあること、日常生活の中で短時間の記憶が抜けていることが良くあることは判明した。一人暮らしであり、意識消失発作があるかどうかは不明であったが倒れていたことはないとのことであった。心電図では意識消失発作の原因となる所見なく、脳波では明らかなてんかん波は認めなかった。今回撮影した頭部 MRI では解像度の問題で指摘されなかったが、以前他病院で撮影された頭部 MRI で両側の側頭葉内側に小嚢胞が数個あり、遺残海馬溝が疑われた。また、左側頭葉内側に脈絡裂嚢胞を認めた。脈絡裂嚢胞は通常無症状とされているが、てんかんを合併した報告が散見されている。脳波では明らかな異常は認めなかったが、病歴、画像所見より側頭葉てんかんを疑いレベチラセタム 1000mg を開始したところ、以後症状再発なく経過している。

【結語】 物忘れを主訴に来院し、側頭葉てんかんと診断した 1 例を報告した。認知症として非典型的な場合は、詳細な病歴聴取、画像診断が必要であると考えられた。



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

## 第94回デメンシアカンファレンス(Web)

2023年3月1日(水) 18:30~

# 「物忘れを主訴に受診した 78歳女性の1例」

発表者：福井大学医学部附属病院脳神経内科 眞田采也加

担当：福井大学

対象：認プロ参加施設及びその他の施設の  
医療関係者（医療系大学の学生含む）

### 【参加方法】

### 個人のパソコンからWeb会議システム(Webex)を使用

・教育コース履修者、メディカルスタッフe-learning講座の登録者、認プロ参加施設の各委員・事務担当者には、事前に北陸認プロ運営事務局からメールで参加案内をお送りします。案内状のメールに従って会議にご参加下さい。

・教育コース履修者の出席はオンライン画面にて北陸認プロ運営事務局が確認します。

・上記以外で参加を希望される方は2月28日までに、氏名とメールアドレスを北陸認プロ運営事務局までお知らせください。

([ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp))

【お問い合わせ先】

北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL:076-265-2149 FAX:076-234-4208 E-mail:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp URL:<http://ninpro.jp/>